2027年３月期 第２四半期(中間期)
決算補足資料

2026年11月12日

英和株式会社

（東証スタンダード市場　9857）

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

2027年３月期 第２四半期(中間期)連結決算概要 … P. 3

2027年３月期 連結業績予想 … P. 11

参考資料 … P. 18

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

2027年３月期 第２四半期(中間期)
連結決算概要

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

連結決算概要

（単位：百万円）	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期	増減額	前年同期比	2027年３月期 修正業績予想
売上高	21,217	22,182	+ 964	+ 4.5%	50,000
営業利益	1,140	1,308	+ 167	+ 14.7%	2,920
経常利益	1,173	1,364	+ 191	+ 16.3%	3,000
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	774	948	+ 173	+ 22.4%	2,000

決算の概況

- 中東情勢の緊迫化に伴うサプライチェーンへの影響が懸念されましたが、当中間連結会計期間においては大きな混乱なく商品の調達を行うことができたことから、前連結会計年度からの受注残が順調に売上へ転化されました。更に、生産性向上や設備更新に関連する投資需要に加え、環境負荷低減や社会インフラの維持・整備に関する需要を取込み、販売は堅調に推移しました
- 利益面では、お客様の課題を解決する「コト売り」をはじめとする高付加価値営業の強化に取組んだことや、各種経費の発生が当初想定を下回って推移した結果、収益性が向上しました
- 特別利益として連結子会社化に伴う段階取得に係る差益17百万円及び負ののれん発生益35百万円を計上しました

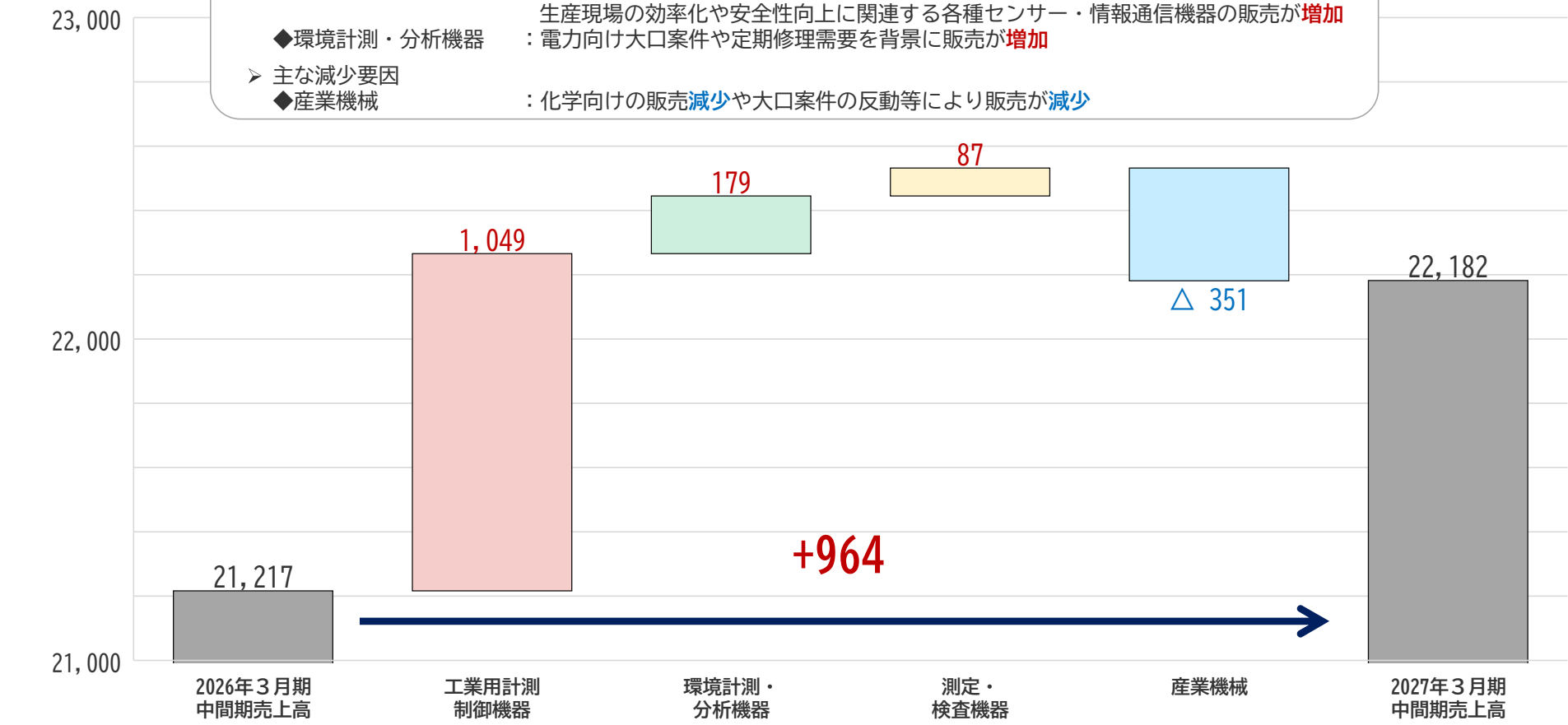
（注）１．2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月12日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、2026年10月８日に発表いたしました「2027年３月期第２四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
２．本資料中の金額は、百万円未満の端数を切捨てして表示しております。

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

品目別連結売上高の増減要因

➢ 主な増加要因
◆工業用計測制御機器　：造船向け環境対策エンジンに付帯する計装品の販売が**増加**
生産現場の効率化や安全性向上に関連する各種センサー・情報通信機器の販売が**増加**
◆環境計測・分析機器　：電力向け大口案件や定期修理需要を背景に販売が**増加**

➢ 主な減少要因
◆産業機械　：化学向けの販売**減少**や大口案件の反動等により販売が**減少**



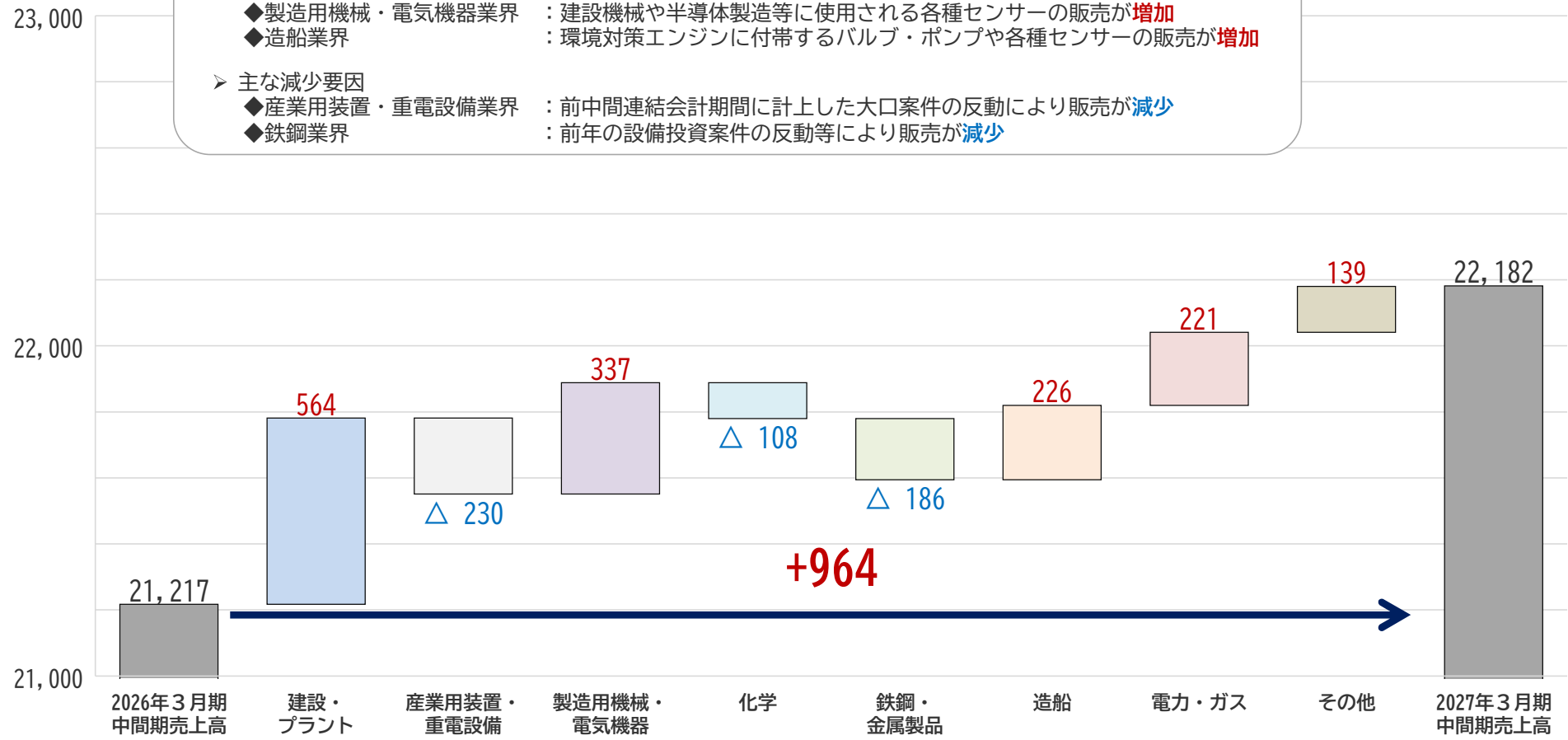
Copyright (C) EIWA Corp. 2026

業界別連結売上高の増減要因

（単位：百万円）

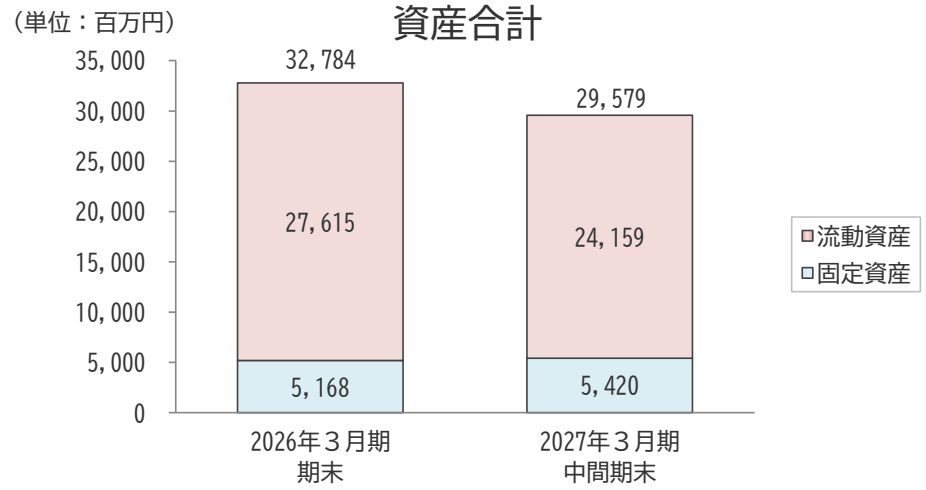
➢ 主な増加要因
- ◆建設・プラント業界　：社会インフラの維持・整備に関連する販売が**増加**
- ◆製造用機械・電気機器業界　：建設機械や半導体製造等に使用される各種センサーの販売が**増加**
- ◆造船業界　：環境対策エンジンに付帯するバルブ・ポンプや各種センサーの販売が**増加**

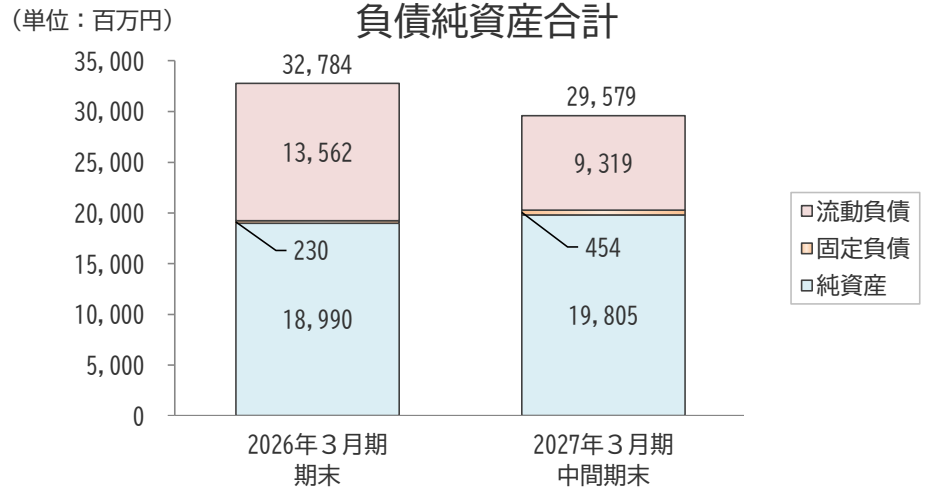
➢ 主な減少要因
- ◆産業用装置・重電設備業界　：前中間連結会計期間に計上した大口案件の反動により販売が**減少**
- ◆鉄鋼業界　：前年の設備投資案件の反動等により販売が**減少**



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

バランスシート（連結）





2027年３月期中間期　　ハイライト（カッコ内は増減額）

自己資本比率：67.0%　（2026/03時点 57.9%）

資産

【増減の主な要因】　（単位：百万円）

- **受取手形、売掛金及び契約資産**：12,340（△3,100）
  売上債権の回収が進んだことにより減少しました

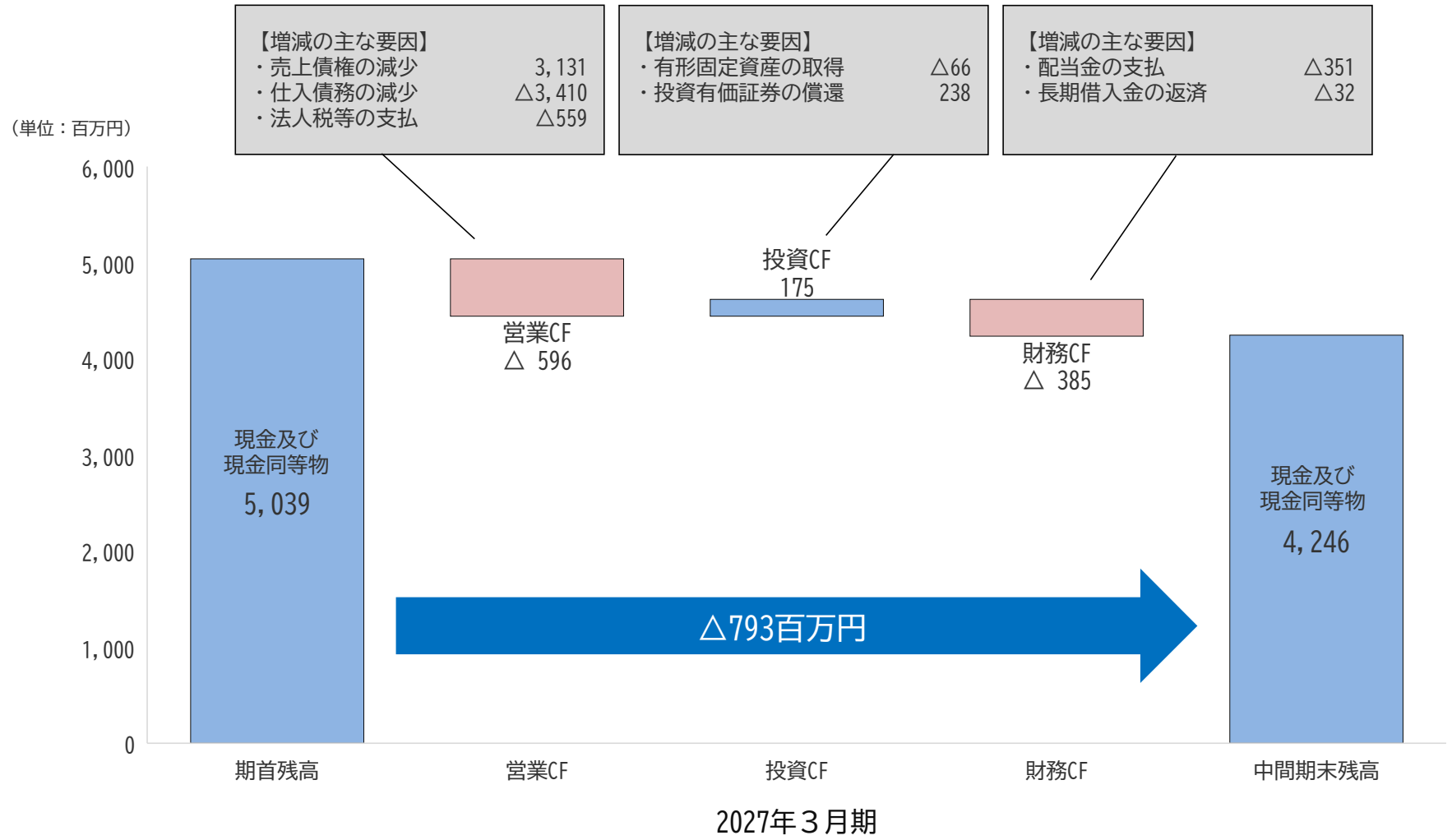
負債・純資産

【増減の主な要因】　（単位：百万円）

- **支払手形及び買掛金**：4,201（△2,534）
  仕入債務の支払が進んだことにより減少しました
- **電子記録債務**：2,958（△860）
  仕入債務の支払が進んだことにより減少しました
- **純資産**：19,805（+815）
  配当金の支払（△354）により減少、中間純利益（+948）等により増加しました

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

連結キャッシュ・フロー



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

TOPICS①【「シャワーカー」による被災地支援に協力】





上：熊本県宇城市に設置された「シャワーカー」
下：現地でシャワーカーの利用案内を行う当社社員

被災地支援

・令和８年熊本地震を受け、被災された方々の衛生環境の維持と心身のケアを目的に、「シャワーカー」のデモ車による被災地支援が実施されました。
・当社も本支援に賛同し、現地での運用支援への協力を申し出ました。
・熊本県宇城市において、被災された方々へ無料シャワーを提供しました。

現地での活動

・当社の産業機械営業部の社員が交代で現地に赴き、シャワーカーの利用案内や設備の運営を支援しました。
・31日間の稼働を通じて、延べ485名にご利用いただきました。

現場の声を次の価値へ

・利用者の声や実際の運営を通じて、製品改良につながる課題を確認しました。
・関係各社と共有し、今後の製品開発・改良につなげるとともに、防災・減災、国土強靭化への取組みを推進します。

31日間稼働　　**延べ485名**利用　　**93.8%**「満足」以上
（30/32名）

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

TOPICS②【企業価値向上に向けた事業領域の拡大】

株式取得を通じ、既存事業の強化と成長市場への事業領域拡大を推進

路面清掃車リユースビジネスへの展開

マシンサービス株式会社
豊和工業株式会社との共同事業

・豊和工業製路面清掃車・産業用清掃機のパーツセンター及び指定工場として、アフターサービス分野における高い技術力と顧客基盤を有するマシンサービス株式会社の株式を豊和工業株式会社と共同で取得しました。

・豊和工業株式会社 × 当社 × マシンサービス株式会社の三位一体による事業運営を通じ、路面清掃車リユースビジネスにおけるシナジー創出を図ります。

議決権所有割合 **49.0%**

水素・電気化学関連市場への展開

エフシー開発株式会社
株式追加取得により連結子会社化

・燃料電池・電解を中心とした電気化学分野で、研究開発支援、試験・評価、セル・スタック、試験装置の設計・製造などに高い技術力と実績を有するエフシー開発株式会社を連結子会社化しました。

・当社の販売網・顧客基盤 × エフシー開発の研究開発力を組み合わせ、水素・電気化学関連市場における提案力・対応力を強化し、顧客の課題解決と新たな事業機会の創出を図ります。

議決権所有割合 14.0% ⇒ **100.0%**

事業領域の拡大 × グループシナジーの創出 → 企業価値の向上へ

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

2027年３月期 連結業績予想

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

2027年３月期 連結計画

※通期売上高予想を485億円から500億円へ上方修正
※売上成長を見込みつつ、成長基盤強化に向けた投資を織り込んだ計画

（単位：百万円）	2026年３月期	2027年３月期 修正業績予想	増減額		前期比	
売上高	48,846	50,000	+	1,153	+	2.4%
営業利益	2,975	2,920	△	55	△	1.9%
経常利益	3,044	3,000	△	44	△	1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,070	2,000	△	70	△	3.4%
１株当たり当期純利益	円 銭 327.11	円 銭 316.03	△	円 銭 11.08	△	3.4%

見通し

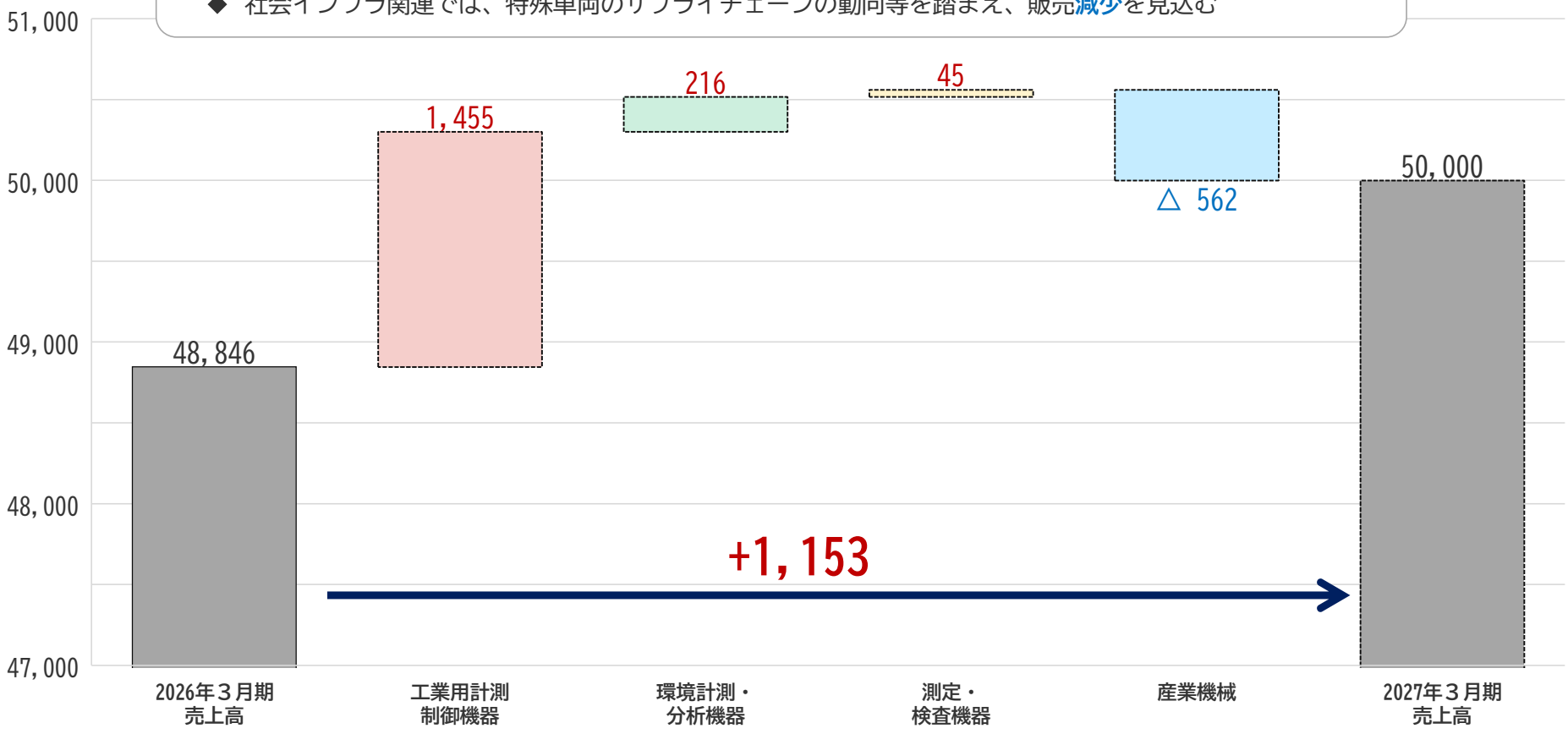
- 連結会計年度の業績予想につきましては、2026年５月12日公表の業績予想から修正しております。
  詳細につきましては、2026年10月８日に発表いたしました「2027年３月期第２四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

品目別連結売上高の増減要因（見通し）

（単位：百万円）

- 中間期までの販売実績及び足元の受注状況等を踏まえ、６月公表時点の品目別通期見通しを見直し
  - ◆ 工業用計測制御機器は、ＤＸ関連投資や老朽化設備の更新需要等を背景に販売**増加**を見込む
  - ◆ 社会インフラ関連では、特殊車両のサプライチェーンの動向等を踏まえ、販売**減少**を見込む

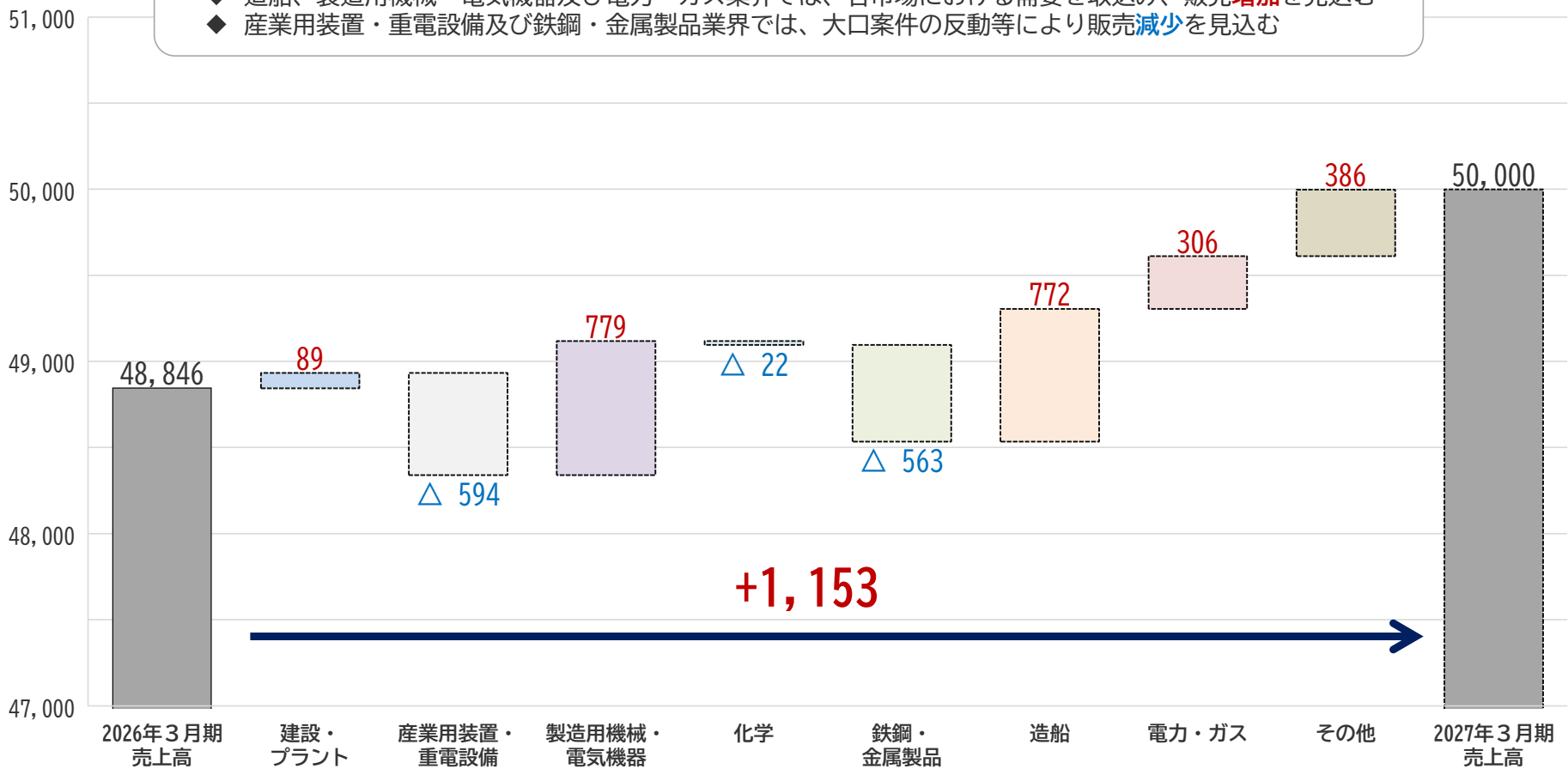


Copyright (C) EIWA Corp. 2026

業界別連結売上高の増減要因（見通し）

（単位：百万円）

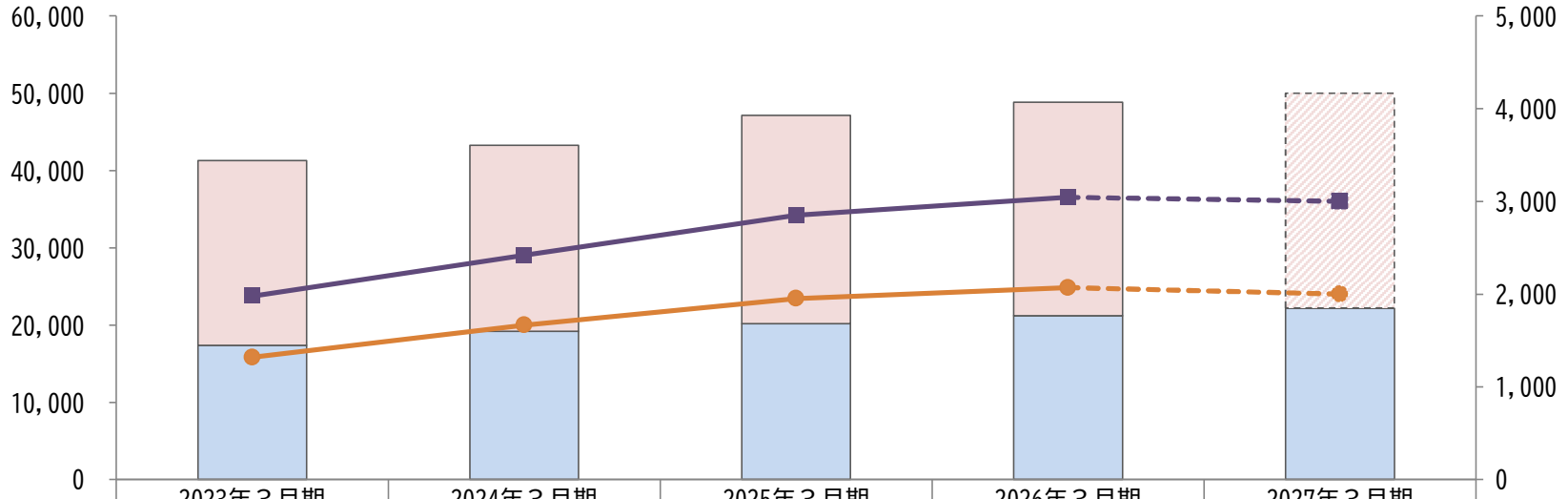
- 中間期までの販売実績及び足元の受注状況等を踏まえ、６月公表時点の業界別通期見通しを見直し
  - ◆ 造船、製造用機械・電気機器及び電力・ガス業界では、各市場における需要を取込み、販売**増加**を見込む
  - ◆ 産業用装置・重電設備及び鉄鋼・金属製品業界では、大口案件の反動等により販売**減少**を見込む



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

連結業績推移

（単位：百万円）



	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
３～４Q売上高（左軸）	23,884	24,102	26,940	27,628	27,817
１～２Q売上高（左軸）	17,399	19,190	20,195	21,217	22,182
売上高	41,284	43,292	47,136	48,846	50,000
経常利益（右軸）	1,979	2,421	2,853	3,044	3,000
親会社株主に帰属する当期純利益（右軸）	1,320	1,667	1,954	2,070	2,000

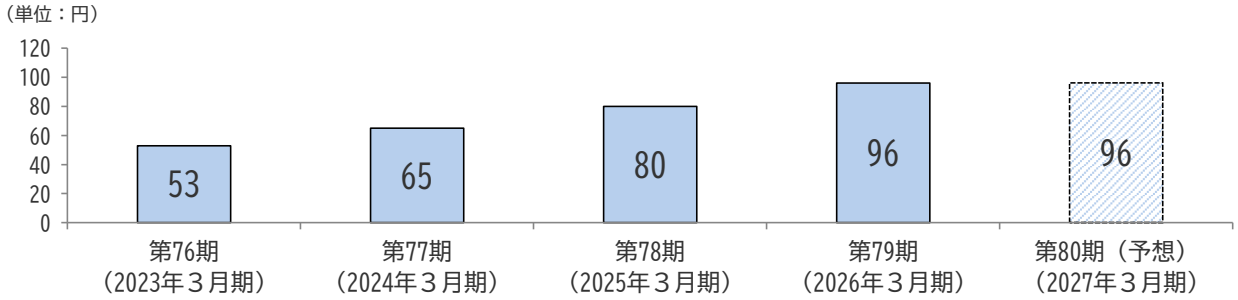
（注）2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月12日に公表した業績予想から修正しております。詳細につきましては、2026年10月８日に発表いたしました「2027年３月期第２四半期(中間期)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

株主還元策

普通配当

第76期 （2023年３月期）	第77期 （2024年３月期）	第78期 （2025年３月期）	第79期 （2026年３月期）	第80期（予想） （2027年３月期）
53円	65円	80円	96円	96円



株主優待

１．対象となる株主様　毎年３月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします

２．優待の内容　以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします
毎年１回、当社定時株主総会終了後の６月下旬に発送いたします



保有株式数	継続保有３年未満	（※）　継続保有３年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

（※）「継続保有３年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して３年以上記載されることとします

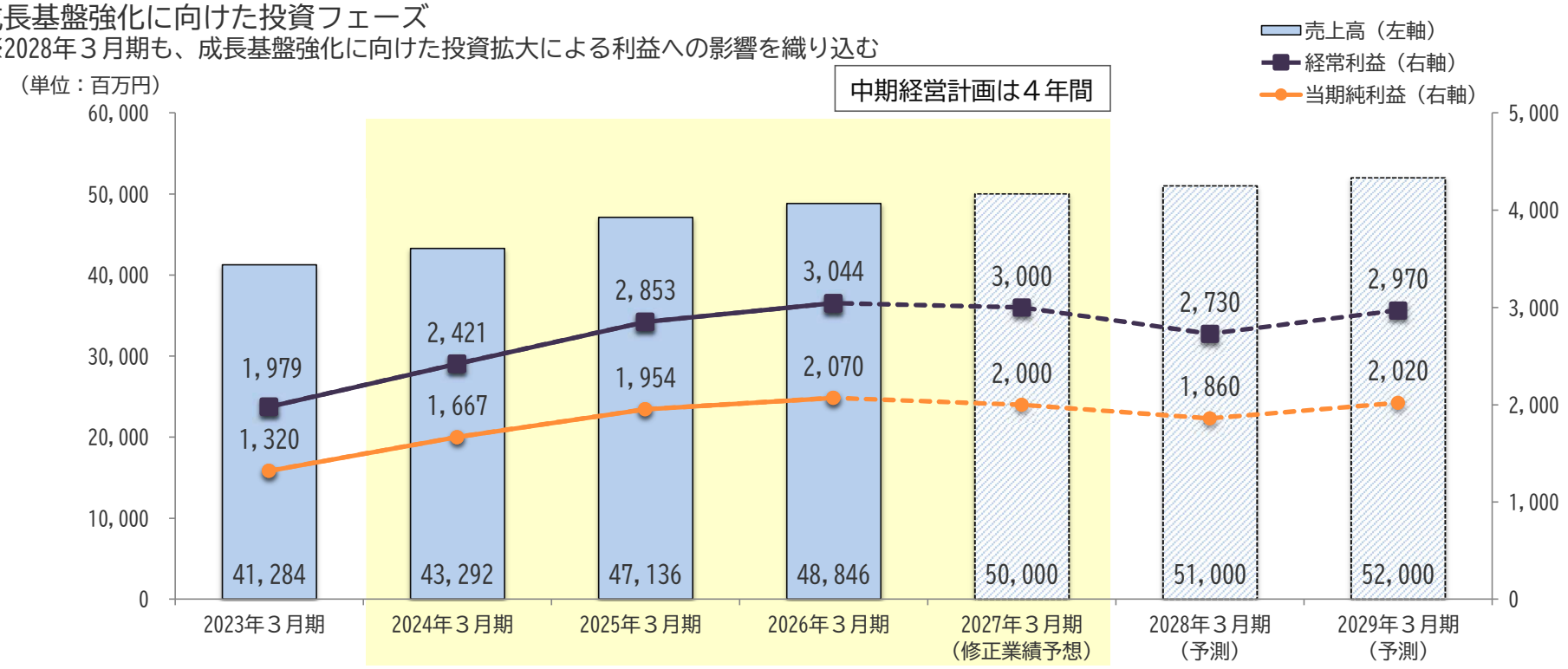
Copyright (C) EIWA Corp. 2026

中期経営計画（業績推移）

◆通期売上高予想を485億円から500億円へ上方修正

成長基盤強化に向けた投資フェーズ

※2028年３月期も、成長基盤強化に向けた投資拡大による利益への影響を織り込む



	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
ROE（自己資本利益率）	9.9%	11.2%	11.9%	11.5%	中長期目標 11%以上

（中長期的にROE11%以上目指す収益性水準）

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

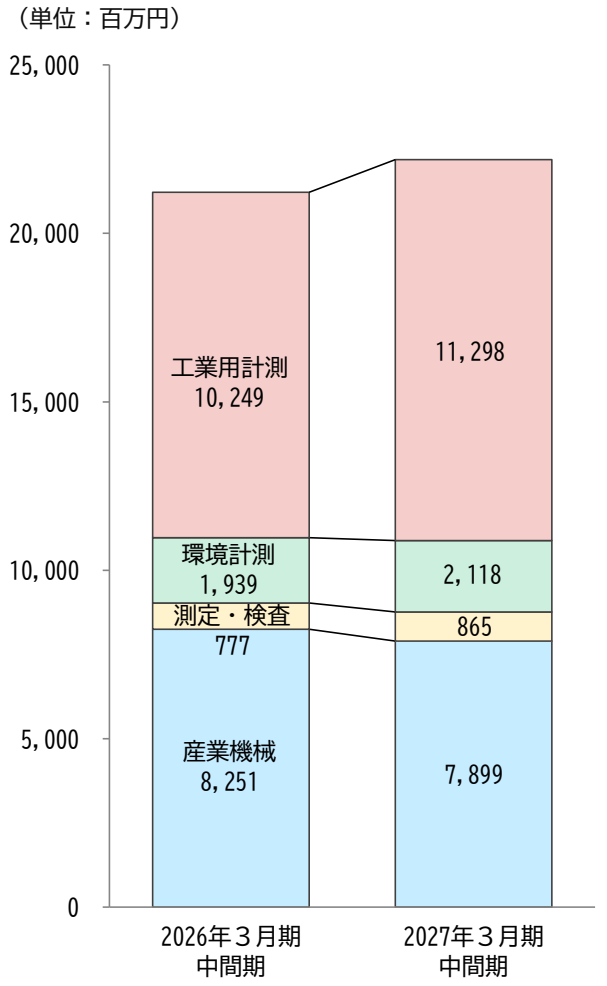
参考資料

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

品目別売上高実績推移（中間期）

（単位:百万円）

	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期	前年同期比		構成比
工業用計測制御機器	10,249	11,298	+	10.2%	50.9%
環境計測・分析機器	1,939	2,118	+	9.3%	9.6%
測定・検査機器	777	865	+	11.3%	3.9%
産業機械	8,251	7,899	△	4.3%	35.6%
合計	21,217	22,182	+	4.5%	100.0%

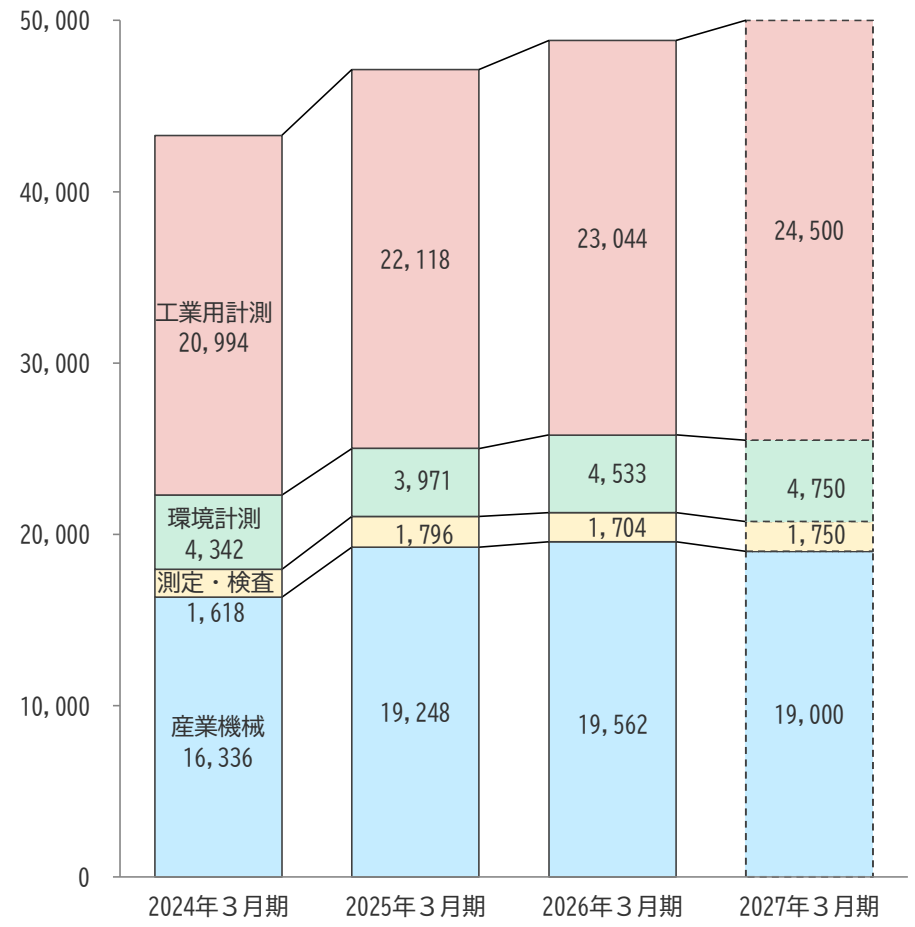


Copyright (C) EIWA Corp. 2026

品目別売上高見通し（通期）

（単位:百万円）	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	前期比	構成比
工業用計測制御機器	20,994	22,118	23,044	24,500	+ 6.3%	49.0%
環境計測・分析機器	4,342	3,971	4,533	4,750	+ 4.8%	9.5%
測定・検査機器	1,618	1,796	1,704	1,750	+ 2.6%	3.5%
産業機械	16,336	19,248	19,562	19,000	△ 2.9%	38.0%
合計	43,292	47,136	48,846	50,000	+ 2.4%	100.0%

（単位：百万円）



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

品目別取扱商品一例



IoT予兆保全システム



グラフィックレコーダー



電波レベル計



全窒素・全りん測定装置



地震計



複合ガス検知器

工業用計測制御機器

環境計測・分析機器

測定・検査機器

産業機械



引張圧縮試験機



顕微鏡



三次元測定機



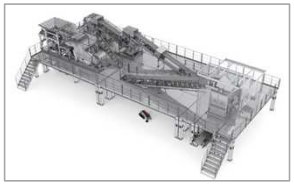
路面清掃車



ポンプ



バイオマスリサイクル

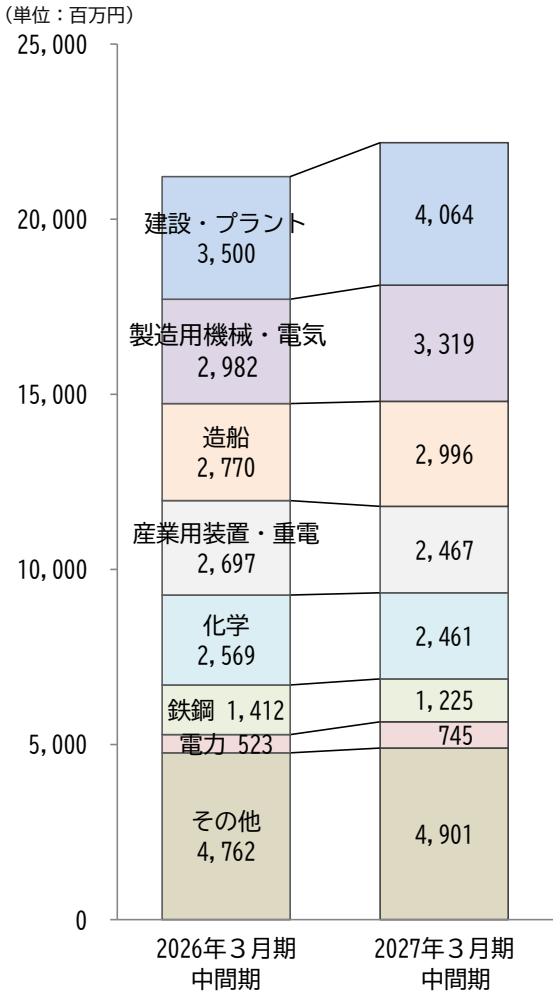


リサイクルプラント

Copyright (C) EIWA Corp. 2026

業界別売上高実績推移（中間期）

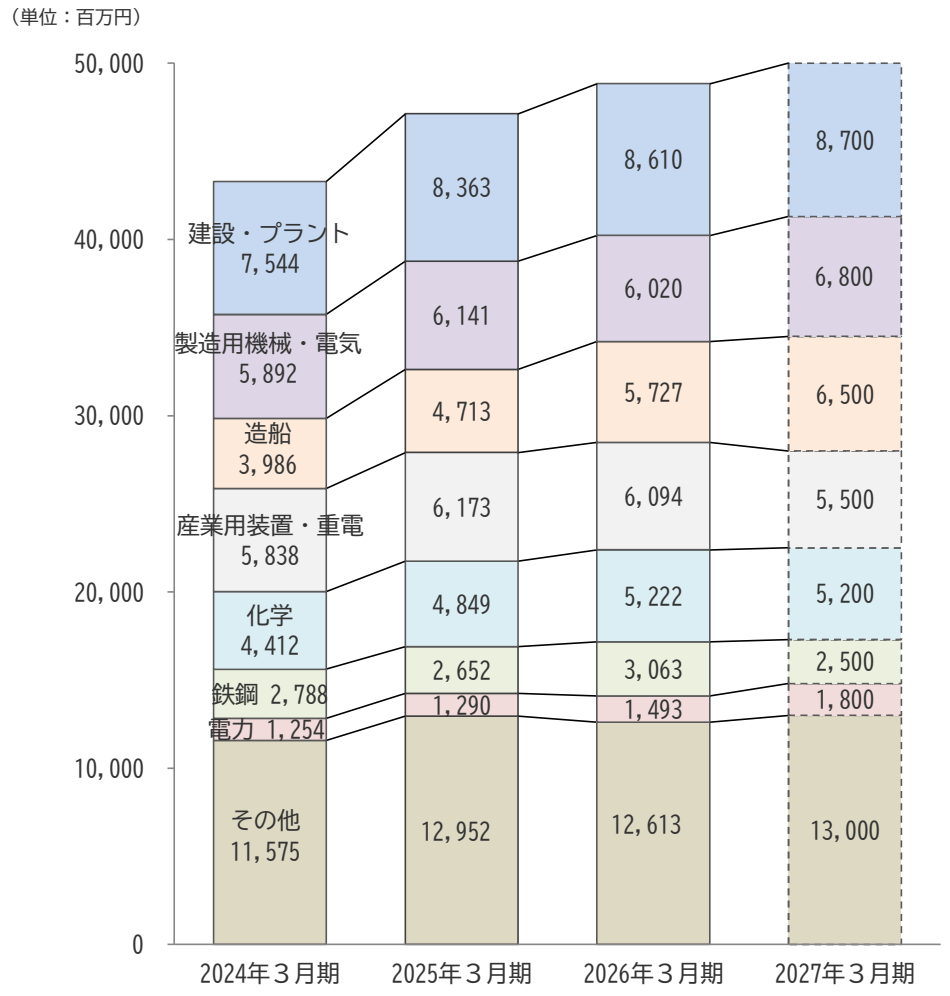
（単位:百万円）	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期	前年同期比	構成比
建設・プラント	3,500	4,064	+ 16.1%	18.3%
製造用機械・電気機器	2,982	3,319	+ 11.3%	15.0%
造船	2,770	2,996	+ 8.2%	13.5%
産業用装置・重電設備	2,697	2,467	△ 8.5%	11.1%
化学	2,569	2,461	△ 4.2%	11.1%
鉄鋼・金属製品	1,412	1,225	△ 13.2%	5.5%
電力・ガス	523	745	+ 42.3%	3.4%
その他	4,762	4,901	+ 2.9%	22.1%
合計	21,217	22,182	+ 4.5%	100.0%



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

業界別売上高見通し（通期）

（単位:百万円）	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	前期比	構成比
建設・プラント	7,544	8,363	8,610	8,700	+ 1.0%	17.4%
製造用機械・電気機器	5,892	6,141	6,020	6,800	+ 12.9%	13.6%
造船	3,986	4,713	5,727	6,500	+ 13.5%	13.0%
産業用装置・重電設備	5,838	6,173	6,094	5,500	△ 9.8%	11.0%
化学	4,412	4,849	5,222	5,200	△ 0.4%	10.4%
鉄鋼・金属製品	2,788	2,652	3,063	2,500	△ 18.4%	5.0%
電力・ガス	1,254	1,290	1,493	1,800	+ 20.5%	3.6%
その他	11,575	12,952	12,613	13,000	+ 3.1%	26.0%
合計	43,292	47,136	48,846	50,000	+ 2.4%	100.0%



Copyright (C) EIWA Corp. 2026

本資料に関するお問い合せ先

英和株式会社

経営戦略部

TEL：06-6539-4816

■ お問い合わせはこちらから

https://www.eiwa-net.co.jp/contact/inquiry/

■ 当社ウェブサイト

https://www.eiwa-net.co.jp

（注）本資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、本資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright (C) EIWA Corp. 2026